

いと、おかし。

垣根のない大学

*Open
gate*



〒781-8515 高知県高知市池2751-1 tel.088-847-8700(代表)



働きながら学べる新コース「夜間主」とは？

新しくなる高知県立大学。これから始まる、働きながら学べる『夜間主コース』についてその魅力や取り組みをご紹介します。

広報委員長 (以下:広): 全国で、働きながら夜間に学べる大学が次々に姿を消す中で、高知県立大学は文化学部で夜間主コースを設置することになりました。その目的と、思いをお聞かせください。

学長 (以下:学): 高知県公立大学法人の中には高知県立大学と高知短期大学があり、60年の歴史を持つ高知短大は社会人が働きながら学べる場という大きな役割を担ってきました。文部科学省も社会人が学ぶことができる政策を各大学へ働きかけており、本学でも「働きながら学ぶ人たちの道を開く」ために平成26年度より新たに社会人入試を導入しています。しかし、社会人入試は昼間の学びを基本としておりますので、社会人が働きながら学ぶ機会の充実を図る上で、その役割を担ってきた高知短大60年の伝統とノウハウを引き継ぎ、時代の変化に合わせて発展的に移行した学びのかたちとして、高知短大を発展的に解消し今回4年制大学に夜間主コースを設置する運びとなりました。

広: 夜間主コースの設置にあたり、県はどんなことを期待していたのでしょうか。

事務局長 (以下:事): 今回の県立大学改革は、平成20年に尾崎知事によって示された、「県立大学改革プラン」が始まりでした。これは永国寺キャンパスを社会貢献をする「知の拠点」とし、社会人の学びの機会の充実と県内高校生の進学機会の拡大を図るもので、その後平成23年に県立大学から文化学部の学びの領域を広げること、定員を150人に拡充し、そのうち

30人は働きながら夜学できるようにするという提案がありました。その内容は、県内の高校生の学びの機会の拡充と、社会人教育を充実させたいという県の大学改革の方向性と合致するものでした。県としてもより専門的で幅広い教育を受けることができることを期待しています。

広: 発展的解消する短大機能を県立大学が継承するとは具体的にどのようなことなのかお聞かせください。

学: 高知短大の学生には働きながら学ぶ意欲のある方や、学ぶことの充実感を重んじている方が大勢いらっしゃいます。地域教育研究センターを設置して、履修証明プログラムや県民開放授業の実施など、学びの意欲がある方をバックアップしていきます。また、短大生に長年寄り添ってきた教員が文化学部へ移籍することで、夜間主コースの学生の学習環境が整うと思います。

広: 梶原先生は、高知短大で働きながら夜間に学んでいる学生たちと身近に関わる中で、その意義をどう考えていますか。

梶原先生 (以下:梶): 働きながら学ぶことには二つの意義があると考えています。一つ目は「学び直し」です。大学はこれまで培ってきた経験や知識を体系的な知恵として整理し、再確認できる場所です。特に、最近の学生は仕事以外の新しい世界のことを学びたいという要求が強いように感じます。職場も社会も流動的になってきており、この社会の変化に対応していくために、自らの視野や世界を広げ、引き出しを増やすことができる学びが求められるように思います。二つ目の意義は大学が「結び目」になっているということです。働きながら学ぶ場というのは、職場や地域だけでなく、広く社

会に開かれた人生を送りたいと考える人にとって個人と社会とを結び付ける場として機能してきました。夜間の教室には年代も職業も住む地域も異なる人が集まっているので、教室が多様性を持った一つの小さな社会のようになっています。ここでは、社会人の学生はただ学ぶだけではなく、他の学生に自分の生き方、職業、体験を教えることができる存在となります。自分の生き方や、やってきた仕事と客観的に向き合い、他の人の暮らしとのつながりの中で捉え直すことで社会における自らの使命や目標の位置付けを確認できる場所としての意義があるように思います。

広: 高知短大の教員として、学生たちどのような支援をされているのでしょうか。

梶: 学生の「学びたい」という熱意に応えることを考えています。例えば講義のない日に「どうしても理解できないところがある」と電話がかかってきて、その意欲が嬉しいから、学生の職場へ飛んで行って、仕事の合間の休憩中に議論することもありました。学内では自主的な勉強会も盛んに開かれていますので、お呼びがかかると駆けつけています。学生の意欲に、教員側の熱意も引き出される感じですね。

広: 来年4月にスタートする文化学部の夜間主コースではどのような学びができ、どのような人材が育つのでしょうか。

学: 自らカリキュラムを選択できるのが本学夜間主コースの魅力です。学びに対する強い熱意を持った高知短大の情熱にあふれた指導を受け継ぎ、今後も社会に有為な人材、とりわけ高知県に根差した仕事をしてくださる人材を育成していきます。

広: 大学としてカリキュラムや入試について働きながら学びたい人が入学しやすいような工夫はされていますか。

文化学部長 (以下:文): 夜間主コースは平日の夜6時から9時10分の間で毎日2時間開講します。昼間の学生同様4年間で卒業することができます。文化学部の学びは、言語・地域・観光・法学という領域で人文社会科学を研究し人間社会を探求するものです。夜間主コースでは言語文化系・地域文化創造系を総合的に学ぶ、「文化総合系」の学びができるカリキュラムとしました。入試は、県内推薦入試と社会人入試の2種類を設けました。働きながら学ぶ意欲のある方のためにもどちらもセンター試験は課しません。推薦入試は調査書と面接、社会人入試は小論文と面接で選抜します。また、社会人入試は、社会人の方の受験の機会を増やすために11月のA日程と3月のB日程の2回実施します。

広: 事務局長は高知短大で働きながら学ばれた経験がありますね。その際どのような喜びがあり、ご苦労がありましたか？高知短大での学びは、どう役立っているのでしょうか。

事: 18歳で県庁へ入庁したと同時に高知短大へ入学しました。体力や気力が有り余っていた青春時代でしたから(笑)、夜に学べる場があるというのはありがたかったです。特に法律に関しては、民法や行政法など仕事に活かせる学びが多く、すぐに頭に入りました。経済の授業も、社会のいろいろな事象を理解するのに非常に役立ちました。高知短大での学びは、現場や実生活にすぐに活用できるとともに視野を広げ、人間性を豊かにしてくれるものでした。高知の多くの社会人の知的好奇心を満たしてきた高知短大が、県立大学という4

年制大学の夜間主コースに生まれ変わることで学士の取得も可能になり、3年次編入学という新たな道も同時に開けます。

広: 3年次編入学への県民の期待は大きいのではないのでしょうか。

文: はい。夜間主コースの平成27年度の始まりと同時に初年度から3年次編入学の募集も開始して、2年間で卒業することもできるようにします。

広: 4年間というのは長丁場になると思います。文化学部としては学生にどのようなケアをされるのでしょうか。

文: 夜間主コースの学生は入学するとまず1回生の段階で文化学部で学ぶ上で必要な基礎的能力を身に付けるために「基礎演習」を受講してもらいます。「基礎演習」の受講によって文化学部での学びが順調にスタートできるようになるはずですが、夜間主コースでは各学年に学年担当の教員を配置し、丁寧に学生の指導に当たりますので安心して入学してください。

学: 高知短大時よりも少人数となりますので、教員の指導やサポートの目や手が十分に行き届くことになるでしょうね。

広: 経済的な面などでどのようなケアをされますか。

事: 夜間主コースの新設を受けて、先行して夜間主コースを実施している他大学を参考に、授業料は267,900円、入学金も県内生であれば70,500円と、共にこれまでの県立大学の半額とすることが決まっています。また、社会人としての勤務のご都合や通

学状況を考えますと、4年間で本当に卒業できるのか、不安に思われる方も多いと思います。そこで、4年間分の授業料で最大8年まで在学することが可能な長期履修制度を導入することとしています。

広: 高知県の知の拠点として機能する永国寺キャンパスで生涯学習の機会が充実していくことを夜間主コースにも期待できますか。

学: もちろんです。夜間主コースは昼間の授業に比べて学生の数が少ないので、社会人の方にもより参加型の学びをしていただけたと思います。高知県立大学は「県民大学」ですので県民の皆様には大いに活用していただきたいと思っています。

広: 本日はありがとうございました。

4人の熱い思いが
たくさん聞けました。



■進行役
清原 泰治
広報委員長



土居 稔
事務局長



南 裕子
学長



岩倉 秀樹
文化学部長



梶原 太一
高知短期大学講師

変わる、始まる、2015年

仕事と学業
両立できる！

学びのカタチいろいろ

つづく

「社会人」と「学び」の垣根をなくします！

学べる機会 Power UP!

社会人向けの学びの機会をたくさん設けました。

選べる!

学びのチャンネルはひとつじゃない!

働きながら

「平日の夜を中心に4年間しっかりと学びたい」

夜間主コース

仕事が終わって
から行ける!



平日夜間に学び、仕事と勉強をうまく両立させながら最短4年間で卒業できる社会人のための学び方があります。

P.1-2、6

●主に、平日の午後6時からの授業で文化学部を総合的に身に付けられる!

入試はないけど

「大学生気分」で学ぶ

県民開放授業

公開講座

本学が開講している講義を、学生と一緒に聴講できる“県民開放授業”。“公開講座”では、専門的かつピンポイントなテーマを扱います。

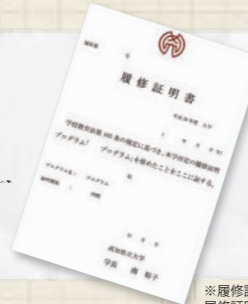
P.7-8

キャリアアップのために

「興味のあるものを集中的に学びたい」

履修証明プログラム

科目等履修生制度



テーマに沿った科目群を120時間以上受講し、履修証明書が発行される“履修証明プログラム”や、興味のある科目に絞って履修し単位を修得できる“科目等履修生制度”があり、スキル向上に役立ちます。

P.9

※履修証明プログラムの履修証明書です。

もう一步踏み込んで

「今の学びを深めたい」

3年次編入学

大学院

学びのステージをより深めたい、追求したいテーマを見つけた方のために。

P.10

もう一度、学生として

「専門的にしっかりと学びたい」

社会人入試

文化学部

看護学部

社会福祉学部

健康栄養学部

すべての学部で社会人のための枠を設け、新たに学士を取得できる制度があります。

P.11-12

看護学部・社会福祉学部・健康栄養学部は平成26年度入学生から、文化学部でも平成27年度入学生から社会人入試枠を設けました。

プロだからこそ

「最新の知識・技術を学び続けたい」

リカレント講座

より専門的に、高いレベルでの学びを深めるためのスキルアップ講座等、たくさんの学びの機会を設けています。

P.13-14

文化の学びはここ！

垣根のない大学へ。 地域に開かれた新しい大学のカタチ

「知の拠点」永国寺キャンパス 2015年4月 再整備

永国寺キャンパスでは、校舎や図書館、体育館を新築するとともに、キャンパス中央に地域交流広場を設け、県民にとっても親しみやすく垣根のない、開かれたキャンパスを目指します。



イメージ図

本部・教育研究棟

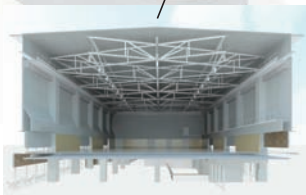
学生の学びの中心である本部・教育研究棟(6階建て)の1階部分に地域開放教室(42人収容)を2教室整備し、公開講座やセミナーなど、県民の皆様の学びの場を提供します。



イメージ図

図書館

県民が集える図書館とするとともに、学生・教職員の利用を活性化するため、学びの共有スペースとしてのラーニングコモンズの機能を中心とした整備を行います。



イメージ図

体育館

体育館は、災害時には近隣にお住まいの方が避難できるよう、自然災害への対応に配慮して整備します。



イメージ図

地域連携棟

開かれたキャンパスの玄関口として、県民の課題解決にご利用いただける施設を目指します。

永国寺キャンパスの再整備と同時に、 社会人の学びもパワーアップ！

働きながら夜間に学び「学士」を取得！
— 文化学部 文化総合系 —

How to “夜間主”

夜間主コースには2つの入試方法があります。

調査書
+
面接で選抜

推薦入試 (募集人員:10人)

以下の6項目に当てはまる方は出願可能です！

- ・高知県内の高等学校等を卒業(修了)見込みの者
- ・調査書の評定平均値3.8以上の者
- ・入学後就業しながら勉学する意思がある者
- ・学校長が推薦する者
- ・文化学科に対し適性を有する者
- ・合格した場合は、必ず本学に入学する意思を有する者

小論文
+
面接で選抜

社会人入試 (募集人員:20人)

大学入学資格を有する方のうち、以下のどちらかに当てはまる方は出願可能です！

- ・社会人経験を1年以上有する者
- ・現に就業し又は就業の意思があり、入学後就業しながら勉学する意思のある者

短大卒の方には3年次編入学試験があります。

平日、午後6時から午後9時10分まで
4年から最大8年でしっかり学びを重ねます。

4年次

コンピテンシーの統合

領域科目 生命倫理と法、ワーク・ライフ・バランスと法、地域産業論、地方自治論、日本思想史、国際関係論など

エッセシャル科目 課題研究ゼミナール

3年次

専門性の深化

領域科目 文化政策論、社会保障と法文化、現代法思想論、地域づくり論、地域分析論、観光文化論、比較日文学、近代文学講読など

エッセシャル科目 課題研究ゼミナール

1~2年次

リテラシー能力と文化研究のための視点を養成

領域科目 日本文化論、地域文化論、中国文学講読、文化と人権、観光学総論、日本語学講読など

キャリア形成科目、エッセシャル科目、リテラシー科目

費用について

入学科

県内生	70,500円
県内生以外	141,000円

授業料

前期	133,950円
後期	133,950円

気になる費用は
こちら！

学生課 入試担当
小笠原 碧さん

詳しくは
webから
資料請求!

Let's
チャレンジ!

入試なしで!? 大学生

「学びたい!」と思った時は はじめどき

文化学部では、県民の生涯学習支援を企図して、「県民開放授業」を開講してきました。
平成26年からは文化学部と地域教育研究センターが共同で、さらにパワーアップした「高知県立大学県民開放授業」をお届けします。

90分キャンパス

県民開放授業

この歳で学生気分を味わえるのは 受講生の“Privilege(特権)”ですね。

県民開放授業受講のきっかけは、ボランティアで関わっていた高知SGG善意通訳クラブの仲間から県立大学の県民開放授業の話を知ったことです。そこで五百蔵先生の授業の魅力などを耳にし、退職したらぜひチャレンジしたいと思いました。英語は昔から好きで、趣味としてラジオや英字新聞で勉強していました。クラブの仲間と一緒に受講し始め、その楽しさを語るうちに受講を始めた方もいらっしゃいます。

県民開放授業で翻訳の際の辞典の活用方法について学んだことで、SGG善意通訳クラブでの活動の際の自信にもつながっています。学生時代から何十年も経って、今またこの歳で、大学の授業に参加できるなんてPrivilege(特別な権利)な体験だと感じています。若い学生と学ぶことはとにかく楽しい!“もう卒業です”と言われるまでは続けて通いたい(笑)。生涯学んでいきたいですね。

受講学生
矢野 洋一さん

会社員時代から、観光ガイド「高知SGG善意通訳クラブ」で英語力を活かして活動され、2008年より英語や英文学を中心に県民開放授業の受講歴7年の受講学生です。

学びへの意欲には
いつも関心します。

文化学部 教授
五百蔵 高浩

矢野さんは普段から英字新聞を読み英語放送を聞くなど、使える英語力をいつも磨いていらっしゃいます。私にとっても「もっと頑張ろう」という気持ちを起こさせてくれる存在です。さらに、学生にとっては進路についても相談できる、愉快で強い味方です。

ある種の知的能力(結晶性
知能・知恵など)は高齢期にも
向上させつづけることができます。

生涯学びつづけ、
生涯発達
しつづけましょう。

地域教育研究センター
生涯学習部会長
宇野 浩三



公開講座は大学の教育・研究成果を
県民の皆様に還元し、広く学習の場を提供する
ために実施している取り組みです

公開講座

90分キャンパス
※最大120分

まず気軽に学びたい方へ
今年も多数の魅力的な講座をご用意しています。

詳しくは高知県立大学ホームページへ

高知県立大学 公開講座

検索

<http://www.u-kochi.ac.jp/use/ol.htm>

これまでに開講の公開講座のテーマ(一部)

地域活性化フォーラム
「ご近所力で“地域は家族!”の地域づくり」

文化学部 日本学レクチャーシリーズ
「日本文化におけるKABUKI」

高知県立大学健康長寿センター 体験型セミナー
「認知症」についてどのくらいご存知ですか?

入試なしで!? 大学生
学ぶココロ、
ココロココロ、
くすぐる講座



キャリアアップ 応援チャンネル 1

社会のニーズに応じた 教育学習プログラム

履修証明プログラム

履修証明制度は、社会人の大学での学びの機会の充実を目指す制度です。テーマに基づき編成された120時間以上のカリキュラムを受講することで、体系的な知識・技術の修得を目指します。

書類審査
+
面接で選考

人として☆より○になっていきたい！
そのために、一所懸命学びます！

FMラジオのパーソナリティーの仕事や司会の仕事をしているので、アウトプットの多い日常を送っていました。そんな時、気軽に受講した県民開放授業を機に「もっと勉強したい！」と思うようになり、現在は履修証明プログラムを受講しています。今、学生として学び直すことがインプット作業となり、アウトプットばかりだった自分を回復しているように感じます。昔、仲の良い友達から「あなたは、人間としてのバランスが☆(星)やね。秀でている部分もあるけど、トゲがある！」と言われたことがあり、その言葉

に自分でも納得しているところがありました。しかし、これからの人生もっと自分のいろいろな可能性に挑戦するという意味でもたくさん勉強して多角的に興味を持ち、さまざまな事を学ぶ中で、頭も心も身体も、まだまだ使い切っていない部分をたくさん使って幅のある○(円)に近い人間になっていきたいと考えています。今は文化学部編入学をし、袴を着て卒業することを目標に、レポート課題に四苦八苦する毎日です。

大黒 久美子さん

短大卒業後すぐに20歳で自称フリーアナウンサーに。現在はFM高知のパーソナリティー、司会を務めながら、県立大文化学部への編入学を目指し勉強中。「土佐学プログラム」の学びはお仕事にも活かしているそうです。

※平成26年度の「土佐学プログラム」の受講料は50,000円です。

キャリアアップ 応援チャンネル 2

1科目から単位修得可能 科目等履修生制度

本学開講科目の中から、ご自身の必要や関心に応じて科目を受講でき、単位修得が可能です。単位修得証明書または成績証明書が交付されます。

書類審査
で選考

※1単位あたりの受講料は14,800円です。
(他に入学料等が必要です)

高知短期大学を卒業後に編入学。
学びをもっと深めたくて！

文化学部 3年次編入学制度
(昼間に履修する学生)

本学以外の大学や短期大学等で学業を修め、人文・社会系の学びを深めたい方を対象に、学士の学位の他、教員免許(中学校・高等学校の国語科・英語科)や日本語教員資格の取得も可能な文化学部への編入学制度です。

中山さんの場合

平成22年度
高知短期
大学卒業

編入学試験
チャレンジ
に向けて
短大へ

短大での学びを活かし
編入学試験合格！

平成23年度
高知県立大学
文化学部
編入学

大学院

学びの情熱が
さらに高まり大学院へ！

人間生活学研究科 1回生
中山 由美さんのCASE
「子育てが終わって、純粋に勉強したかった」

東京女子大学短期大学部を卒業後、大学編入学を考えましたが編入学試験は英語と論文が必要で、英語を自己流で学ぶのには限界があると感じ、まずは「のみ」で、編入学試験に臨み無事大学生になることができました。文化学部編入学した後は2年間で99単位を取得しました。朝8時から夜9時過ぎまで大生に感じる大変でしたが、とても幸せな2年間を送りました。現在は、人間生活学研究科で英語学を学んでいます。

高知県立大！
深い学びもおまかせください。

これが私の学ぶ道

県民開放授業をきっかけに
学びのおもしろさに目覚め、
大学院へ！

高知県立大学大学院

大学時代に学んだことを基礎として、さらに研究を進めていく学生たちが日々勉学に励んでいます。看護学研究科、人間生活学研究科、健康生活科学研究科*の3つの研究科があります。

*健康生活科学研究科は募集を停止いたしました。

高橋さんの場合

平成6年度
高知女子大学
保育短期
大学卒業

「学びたい」という
衝動にかられ
編入学

県民
開放授業

平成20年度
高知女子大学
文化学部
編入学

高知県立大学
大学院

受ければ受けるほど
学びたい気持ちが
高まり大学院へ

人間生活学研究科 1回生
高橋 美由紀さんのCASE

「学びたい」という気持ちに引っ張られ、
編入学、県民開放授業、大学院まで。

高校卒業後、音楽教室で子どもたちにエレクトーンを教える中で「幼児教育を学びたい」と思ったのをきっかけに、高知女子大学保育短期大学部で学びました。その後、保育士として働いていましたが、「もっと学びたい」という思いから高知女子大学(現 高知県立大学)へ3年次編入学し、日本文学を学びました。卒業後も学ぶ楽しさが忘れられず、県民開放授業を3年間受講しました。県民開放授業を受ければ受けるほど「もっと学びたい」という気持ちが高まって、今は大学院で源氏物語について研究しています。人生のいろいろなポイントで、もっと学びたいという思いに引っ張られ、それを受け止めてくれる大学や丁寧に指導くださる先生方、周りの環境に恵まれて、学び続けています。

長い人生を後悔しないために、日々奮闘中です!



「大学生」という選択肢は就職しましたが、持病があり、その後の人生を考え迷っていました。「周りは仕事をしているのに」と、初めはもう一度学生になることに悩みました。しかし、これからの人生の方が長いので、後悔しないように挑戦することにしました。自分と同じように健康に不安のある人を支えられる職業の一つである、管理栄養士の道を目指しています。

当初は専門学校への入学を検討していたのですが、夏ごろに県の広報紙で高知県立大学の社会人入試開始の情報を知り、11月の入試に向けて、苦手に生物や化学を中心に勉強し準備しました。入学が決まって、他の学生に馴染めるようにと、入学式前日の新入生歓迎会へ参加したりと努力しましたが、心配には及ばず、同じ目標を持つ学部生と先生方は強い結束力があるように感じています。入学して4カ月の学生生活で感じるのは、健康栄養学部の専門的な

学びのレベルの高さです。現在は、他大学で単位取得済みの共通教養教育科目については振り替えが可能のため、必修科目を中心とした時間割になっていますが、管理栄養士と栄養教諭の資格取得を目指して日々奮闘中です。社会人入試を検討されている方には、「学びたい」という強い気持ちがあるならそれをぜひ、貫いてもらいたいですね。周りの協力も必要になります。目標を達成していく前向きな力が恩返しになっていくと思います。

社会人入試出願資格

文化学部、看護学部、社会福祉学部、健康栄養学部のすべての学部で社会人入試を設けています。各学部の主な出願資格は以下のとおりです。詳細は学生募集要項をご覧ください。

文化学部

大学入学資格を有し社会人経験を2年以上有する者

看護学部

看護職として卒業後社会に貢献する意欲のある者のうち、以下のいずれかに該当するもの

1. 大学入学資格を有し社会人経験を5年以上有する者
2. 短期大学を卒業し社会人経験を3年以上有する者
3. 大学を卒業し社会人経験を1年以上有する者

社会福祉学部

将来、保健・医療・福祉関係業務に従事することを希望する者のうち、大学入学資格を有し社会人経験を2年以上有するもの

健康栄養学部

管理栄養士として卒業後社会に貢献する意欲のある者のうち、以下のいずれかに該当するもの

1. 大学入学資格を有し社会人経験を5年以上有する者
2. 短期大学を卒業し社会人経験を3年以上有する者
3. 大学を卒業し社会人経験を1年以上有する者

学ぶ理由。

社会人入試 私がもう一度

元々団体職員をしていたのですが、結婚し妊娠、産科を2箇所受診しましたが分娩予約が取れず、高知の産院不足を実感しました。その後、受け入れてくださった病院の助産師さんの食事指導や母親教室、出産後の関わりで感激し、助産師を目指す意志が固まりました。実は高校生のころから看護の世界に興味を持っており、当時から、看護の道を目指すなら高知女子大学(現高知県立大学)

だと思っていました。何年かかってもセンター試験に挑戦する覚悟を決めた時、新聞で社会人入試の開始を知り、家族に相談をして受験を決めました。看護学部の試験内容は、小論文・面接によるもので、小論文については塾で指導を受け試験に臨みました。この他にも家族・友人・高校時代の恩師の支えがあったことで無事合格することができました。

入学料や授業料については退職金の他、家計に負担が少なくなるよう、奨学金や授業料免除も利用していくつもりです。自分のお産をおし、「お母さんにとって、その子の出産は一度きり」であることを痛感しました。その一度きりの出産を、満足したと感じられるお産になるよう一緒に考え、母子の心に寄り添える助産師になることを目標にしています。越えなければならぬ壁は多いですが、いくつになっても諦めないことで行動につながり、夢は叶うと信じています。

助産師になって命の誕生の瞬間に立ち合いたい!!



私のための制度かと思いました

社会人入試とは

新たな知識や能力を修得したいという旺盛な学習意欲を有する社会人や、学び直しにより新たな領域で活躍したいと希望する社会人に対し、大学の門戸を開くことを目的とした入学試験のことです。

2014年9月現在、看護学部2人、社会福祉学部1人、健康栄養学部1人の学生が在籍し、一般の学生と共に、日夜勉学に励んでいます。

専門家による専門家のための学び、たくさん

全国トップクラスの学びを受けたプロフェッショナルたちが、その学びを県内に還元しています。

看護学部 〈看護学科〉

高知県立大学の看護教育は日本最先端の看護！ 県民へ、そのスキルを！

昭和27年創立の伝統ある看護学部では、世界や全国に先駆けた看護教育をとおし、数多くの優秀な人材を育成しています。最先端の取り組みの一つとして現場で働く保健医療に携わる皆様への最新の看護の知識と技術修得の場を提供することにも力を注いでいます。学部教員による各専門領域の学びはもちろんのこと、専門職者による患者さんやそのご家族への多様なケアの在り方を検討する機会の提供など、県民の皆様と密接に関わっている専門職者を通じて、県民の健康を支えています。

●看護学部が実践するさまざまな学び・研究・探究の取り組み

リカレント教育で専門性をアップ

高知県内の保健医療に従事する皆様や、卒業生、修了生を対象に、ニーズに応じたさまざまなリカレント教育を行っています。各領域でのリカレント教育、大学院修了生の交流集会、公開講座や研修会などとおして、専門職としての能力を向上させるための多様な学びの場を提供しています。



現場の思いや情報を共有するケア検討会

11の専門領域でケア検討会を開催し、高知県内の保健医療に従事する皆様と共に、各専門領域に関する情報交換や事例検討を通じてケアの質を向上することを目指しています。事例検討では、意見交換をとおして事例に対する理解を深め、さまざまな観点からケアの方略を探り、解説を含めた講義を行います。これらは現場で働く専門職者と共に探究し、学ぶ機会となっています。



最新看護実践講座、大学院特別講義で最先端の看護へ

最新の看護実践に携わる第一人者を講師にお迎えして、看護の実践や研究について広く学ぶ機会を提供しています。本学の学部生や大学院生だけでなく、地域の看護専門職の皆様や修了生と共有し、看護の質を向上するための講座を実施しています。



健康栄養学部 〈健康栄養学科〉

管理栄養士合格率100%に向けて 確かな取り組み

健康栄養学部生の栄養士免許、管理栄養士国家試験受験資格の取得サポートはもちろん、高知県栄養士会と協働で管理栄養士国家試験に挑む県内栄養士の試験対策サポートも実施しています。



社会福祉学部 〈社会福祉学科〉

専門職者と県民が共に考えると
より実践的な学びになる！

社会福祉の専門職従事者や学部卒業生にとっての具体的な事例を取り上げた再教育の場を設けています。一般市民にとって決して縁遠くない、社会福祉への理解を促すことを目的に、社会福祉に関するさまざまな内容で、年4回の講座を健康長寿センター事業として開催しています。



文化学部 〈文化学科〉

学びの成果を地域へ還元！
豊かな教育サイクルを全力サポート！

地域に学び、地域に還す。そんなface to faceの学びを実践しています。リカレント講座(教科等研修)では、各分野の研究成果を踏まえ、理論面だけでなく具体的に応用的な活動を取り入れた学びのリフレッシュ体験を味わっていただき、現職教員の実践的な指導に役立つ講座を高知県教育センターとの共催事業で実施しています。



健康長寿センター 関連学部が連携して、「日本一の健康長寿県」を目指し、 県民の健康長寿を促進します！

「日本一の健康長寿県」を目指し、健康長寿を促進するための活動を行う「健康長寿センター」。池キャンパスに拠点を置く看護、社会福祉、健康栄養の3学部をはじめ、高知医療センター等との連携により、高知県内の保健・医療・福祉に関わる地域の方々と協働して、保健・医療・福祉分野の人材育成、専門職者の知識や技術の向上を図るための事業を行っています。全国のトップを走る看護教育や、高度で専門的な高知県立大学の学問の成果を県民の皆様へ還元し、「日本一の健康長寿県」を目指します。



例えば…

地域医療フォーラム

地域で療養する人々の医療と生活への支援を担う、医療(栄養)・看護・福祉(介護)などの関係者の連携強化と、資質の向上を図ることを目的に、各専門職の視点から、県外で活躍されている訪問看護師、管理栄養士、介護福祉士の方々による、実践活動におけるチームケアについてのリレートークなどを実施し、医療保健関係者だけでなく、一般の方々にも多数参加していただきました。

